

元気な草加 優しい越谷

NEWS LETTER

衆議院議員・弁護士

細川律夫



細川律夫国会事務所 TEL 03-3508-7513 FAX 03-3593-7148

細川律夫後援会本部 TEL 048-966-5115 FAX 048-965-8818

E-mail : g04091@shugii.n.go.jp ホームページ : <http://minshu.org/hosokawa/>

2005年10月11日 No.108

板川市長3選出馬の越谷市長選、30日投票

10月30日、細川律夫代議士の地元である越谷市長選挙が行われます。現職の板川文夫市長は細川律夫代議士の大学の後輩であり、市と国の連携にとっても非常に大切な人で、先の衆議院議員選挙でも全力で支援してくれました。板川文夫市長は、この選挙で3期目の当選を目指します。



上の写真は、9月3日、菅直人元代表が細川律夫候補を応援に来たときのもの。板川市長は、「細川先生は国にとって必要なだけでなく、越谷市にとっても必要な人」と応援のあいさつをしました。

市長選挙には現職の板川文夫氏のほか、前市長の子息で自民党推薦の島村あきお氏、元参議院議員の藤井俊男氏、元市議会議長の樫村紀元氏の4名らが立候補を予定し、すでに活発な動きを見せています。特に島村氏は親子で広い範囲に支持を訴えており、決して楽観はできません。

板川市長による越谷市政改革は順調に進んでい

ます。情報公開と市民参加に基づき、財政赤字を減らしつつ、福祉・環境・教育など生活を重視する基本姿勢は、多くの市民の支持を得ています。今回の選挙も市長自身の意向により、政党の推薦はありませんが、民主党は、市政改革を進める板川文夫市長を全面的に支持しています。皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

補選は後藤孝江さんを応援

市長選と同時に越谷市議会議員の補欠選挙も行われます。この選挙の定数は3名で、現時点で4名または5名が立候補の予定です。細川律夫代議士はこの選挙で、以前から細川代議士を熱心に支持してくれている後藤孝江さん（無所属）を応援します。後藤さんは前回の統一選まで、板川与党の一員として市議会で活躍していました。今回、板川市長とともに当選を果たせば、板川市政3期目にとっても大きな戦力として期待できます。

郵政法案、あっさり衆院通過

本日（10月11日）、衆議院本会議で郵政民営化法案が圧倒的多数の賛成で可決されました。解散総選挙前とほとんど変わらない中身にも関わらず、前回反対した議員も賛成に回るなどして、今回の選挙結果の大きさがひしひしと感じられました。審議時間も少ない超スピードで、民主党案の審議もほとんど行わない衆議院の審議経過は、巨大党の問題点を浮き彫りにしています。

細川氏6度目の初登院



当選証書を持って初登院へ

すでになかなか時間が経過しましたが、9月21日、特別国会が召集され、すべての当選議員が衆議院に初登院をし、改めて議員バッジを付けました。細川律夫氏も初当選から

数え6度目の初登院を行いました。今回マスコミは、刺客などと騒がれた自民党の女性議員や思いがけなく当選した比例下位順位の新人を追い、民主党議員にとっては苦い味の初登院でした。



衆議院職員から議員バッジを付けてもらう

細川代議士再び予算の筆頭に

細川律夫議員は、新しい前原執行部から過去の実績を買われ、再び衆議院予算委員会の野党筆頭理事に就任しました。この特別国会では9月30日に小泉首相を呼び予算委員会の審議が行われ、10月3日にも審議がありました。

委員会の筆頭理事とは与野党攻防の最前線の指揮官であり、特に予算委員会はもっとも脚光を浴びる大事な委員会です。細川律夫代議士は「予算委員会という最も重要な与野党の論戦の場を、民

主党反転攻勢の拠点とするようにがんばっていきたい」と語っています。

議会活動も様々な分野で

民主党議員激減の余波は議会活動にも現れ、様々な政策課題に取り組んでいた議員が議席を失った結果、今まで以上の要請が来ています。

以前法案化で取り組んだバリアフリーの問題、タクシーなどの規制緩和によって現れた課題、戦後処理が完全に行われていないための国際的課題など、毎日のようにいろいろな分野の問題が寄せられています。

前国会から司法解剖などの問題点を議論してきましたが、ジャーナリストの柳原三佳さんがこの度「死因究明」という名の本を講談社から出版しました。細川代議士の国会活動に触れた場面もありますので、ぜひご購入ください。

細川律夫より一言

元気です。今日郵政民営化法案が衆院で可決されました。圧倒的な票差でした。巨大与党の実態を見せつけられた感いです。10月23日から市長選・市議補選が始まります。板川市長・後藤孝江さんとよろしくお願ひします。

秘書のシフトが変わりました

国会事務所勤務の川崎佐代の退職により、下記のとおり事務所スタッフのシフトが変わりました。

政策担当秘書 石原憲治、公設第一秘書 羽田進一、第二秘書 緑川博美、私設秘書 高澤慶、細川威、松下和子、川津美千代、佐藤静江（新任）

上記のうち、石原、佐藤が国会勤務、他が地元勤務となります。ご要望等がございましたら、いずれかの事務所にお問い合わせください。よろしくお願ひします。